

メイクで心身元気に

セラピストとして活動中

元篠山養護学校教諭 酒造志保さん

元篠山養護学校教諭の酒造志保さん(52)「芦屋市」が、高齢者や障がい者を対象にした「メイクセラピスト」として活動に励んでいる。名の通り、化粧を施すことで心身の健康を促す新しい療法。酒造さんは、「化粧をして外見が良くなると、気持ちまでプラスになっていく。おしゃべりな人は元気。このメイクセラピーをたくさんの人に知ってもらえたら」と話している。(森田靖久)

今月7日、障がい者短 俱樂部」のメンバーが ありますか」と聞けば、 期入所施設「みずほの 利用者にメイクを施し 利用者は、「ピンクが好 家」(北新町)で、酒造 きた」とほにかむ。淡い桃

さんが立ちあげたボラン ティアグループ「Shin・Shin・フレンド 造さんが、「好きな色は 酒造さんがメイクセラ

「気持ちまでプラスに」



障がいのある人にメイクを施していく酒造さん(中央)。完成すると一気に部屋まで明るくなったよう＝篠山市北新町で

「タカラベルモント」が 運営する一般財団法人 「タカラ杉山社会福祉会」 の支援を受けながら、県 内各地でボランティアに 励んでいる。

2010年には、「メ イクセラピーShin・ Shin」を開業、今年 10月、一般社団法人「日 本アピランスセラピー 協会」を立ち上げ、会長 に就任するなど、精神的 な活動に取り組んでいる。

「東北では震災で被災 した人たちの癒やしとし て、メイクや美容が重要 であることが証明され た。メイクセラピーが必 要とされているんだなど 実感しています」と酒造 さん。「篠山は私のベ ースをつくってくれたこ ころ。メイクセラピーの良 さを広められたら」と話 している。

問い合わせは、酒造さ ん(電話090・2228 5・0766、メー ル info@therapy-shin2. com)。

その後、退職するまで の6年間、篠山養護学校 に勤務する傍ら、本格的 にメイクセラピーを学 び、高齢者や障がい者の 福祉施設を訪問するボラ ンティアグループを結 成。大手理美容品会社